

# 大学周辺地域の安全推進活動

人間総合科学研究科 博士後期課程2年  
渡辺 伸子

## 1. 事業の概要

筑波大学生が多く住む大学周辺地域は、つくば市でも犯罪の多い地域となっている。そこで、大学周辺地域において、安全推進活動を行った。具体的には、天久保3丁目・4丁目および春日3丁目・4丁目において防犯パトロールを実施した。また、啓発のためのグッズを作成した。

## 2. 事業成果の概要

参加メンバーはT-ACTにて募集した。企画名は「アマクボ・カスガ 平和にし隊」とした。(なお、T-ACTの仕様上、活動を<前半>と<後半>に分けて行った。前半は9月末まで、後半は10月からであった。)登録上は13人の協力が得られたが、実際は学業やサークル活動などに忙しく、実動メンバーは半分程度であった。

防犯パトロールは、平日の夕方6時半ごろから行った。第1回のパトロールでは、つくば市警察より指導を受け、防犯パトロールの心得や、地域の特性などについて伺った。その後は、月に1度程度のペースでパトロールを実施した。パトロールは、1回につき対象地域のいずれか1つを選び行った。パトロールの際には、つくば市役所より借り受けた防犯ベストを着用し、懐中電灯を携帯した。通行人に対し、「こんばんは」などと声掛けをしながら、40分程度の時間をかけて行った。当初は通行人からあいさつを無視されることが多かったが、回を重ねるごとに、あいさつが返ってくるようになった。一定の認知を得られた証拠だと感じられた。防犯パトロールは、合計8回実施した。

また、防犯パトロール以外でも、意識啓蒙を行いたいと考え、防犯を促すような内容を印刷したクリアファイルを作成した。ファイルは、支援室等に設置し、学生が自由に持ち帰ることができるようにした。

## 3. 地方自治体等との連携

つくば市警察より、防犯パトロールについて指導を受けた。また、つくば市役所より、防犯ベストの給付を受けた。

## 4. 今後の展望

活動は有益であったと認識しているが、防犯パトロールへの協力者の確保が非常に困難であったことから、次年度の活動継続の見通しは立っていない。

## 5. その他

つくば市警察より、他の防犯組織も参加するキャンペーン等へのお誘いを受けたが、平日であったため参加できるメンバーがおらず、参加を見送った。時間の都合がつく限りで、積極的に参加していきかけたが、難しかった。



防犯ベスト(中央)と懐中電灯(右上)



防犯を呼び掛けたコピーを印字したクリアファイル